



手すり照明 (サポートレール2・3型)

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明



警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。



注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

お願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。

・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

⚠ 注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

●ねじは当社純正品の指定本数を使い、下記締付トルクで固定した後に緩みがないか確認してください。

<推奨トルク>

φ4ねじ: 1.5N・m±0.5N・m (15±5kgf・cm)

M8ボルト: 13.0N・m±0.5N・m (130±5kgf・cm)

●鋭角に曲げないでください。
※最小曲げ半径は300mmです。



●踏みつけたり、発光面を強く押さないでください。



●両面から追い込みをしないでください。(レールへの取付時)



⚠ 注意

●ねじったり、強く引っ張らないでください。



●曲げる方向に注意してください。



発光面



発光面



施工前のお願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工場所の寸法に製品が正しく納まるか確認してください。

施工上のご注意

▲ 注意

- ねじは当社指定品の指定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。

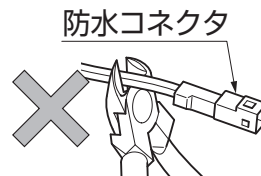
施工上のお願い

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

電気配線工事について

▲ 注意

- DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。
- 別売りの当社製トランス電源ユニット・電源ケーブルと組合わせて使用してください。
- 防水コネクタを切断するなどの加工は行わないでください。故障・感電のおそれがあります。
- 施工作业中は通電させないでください。故障・感電のおそれがあります。



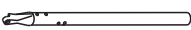
施工チェックシート

※施工時に下記を必ずご確認ください。この項目を守らないと不具合発生につながります。

No.	確認項目	施工後チェック (○/×)	不具合現象
1	灯具切詰め時は当社指定のシーリング材、接着剤を使用しましたか？		水の浸入による不点灯の原因になります。
2	灯具の防水コネクタは切断していませんか？		故障や不点灯の原因になります。

梱包明細表

【1】柱セット

名 称	略 図	員 数	
		トップ1段	トップ2段
トップビーム1段 柱		1	-
トップビーム2段 柱※		-	1
【1a】M12×35六角穴付ボタネボルト※		-	1
【1b】M12平座金※		-	1
【1c】M12バネ座金※		-	1

※仮組みして梱包しています。

【2】ビームセット

名 称	略 図	員 数
ビーム		1

【3】端部ビームセット

名 称	略 図	員 数	
		端部S	端部R
端部ビームSタイプ		1	-
端部ビームRタイプ		-	1
注意シール		1	1

【4】ブラケットセット

名 称	略 図	員 数
φ42ビームブラケット※		1
ビームインナー※		1
φ42ビームカバー		1
【4a】φ4×12サラタッピンねじ2種		2
【4b】M8×25六角穴付ボタネボルト※		1
【4c】M8×20六角穴付ボタネボルト※		2
【4d】M8バネ座金※		3

※仮組みして梱包しています。

【5】端部ブラケットセット

名 称	略 図	員 数
φ42ビームブラケット※		1
【5a】M8×25六角穴付ボタネボルト※		1
【5b】M8×20六角穴付ボタネボルト※		2
【5c】M8バネ座金※		3
取付説明書＜E104＞	-	1

※仮組みして梱包しています。

【6】シームレスラインライト Hタイプ 端部

名 称	略 図	員 数
シームレスラインライト Hタイプ 端部		1

【7】シームレスラインライト Hタイプ 連結

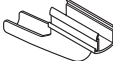
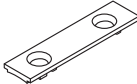
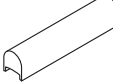
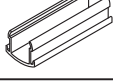
名 称	略 図	員 数
シームレスラインライト Hタイプ 連結		1

【8】シームレスラインライト Hタイプ 切詰め用キャップ

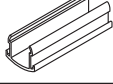
名 称	略 図	員 数
シームレスラインライト Hタイプ 切詰め用キャップ		2

※追加手配が必要な場合

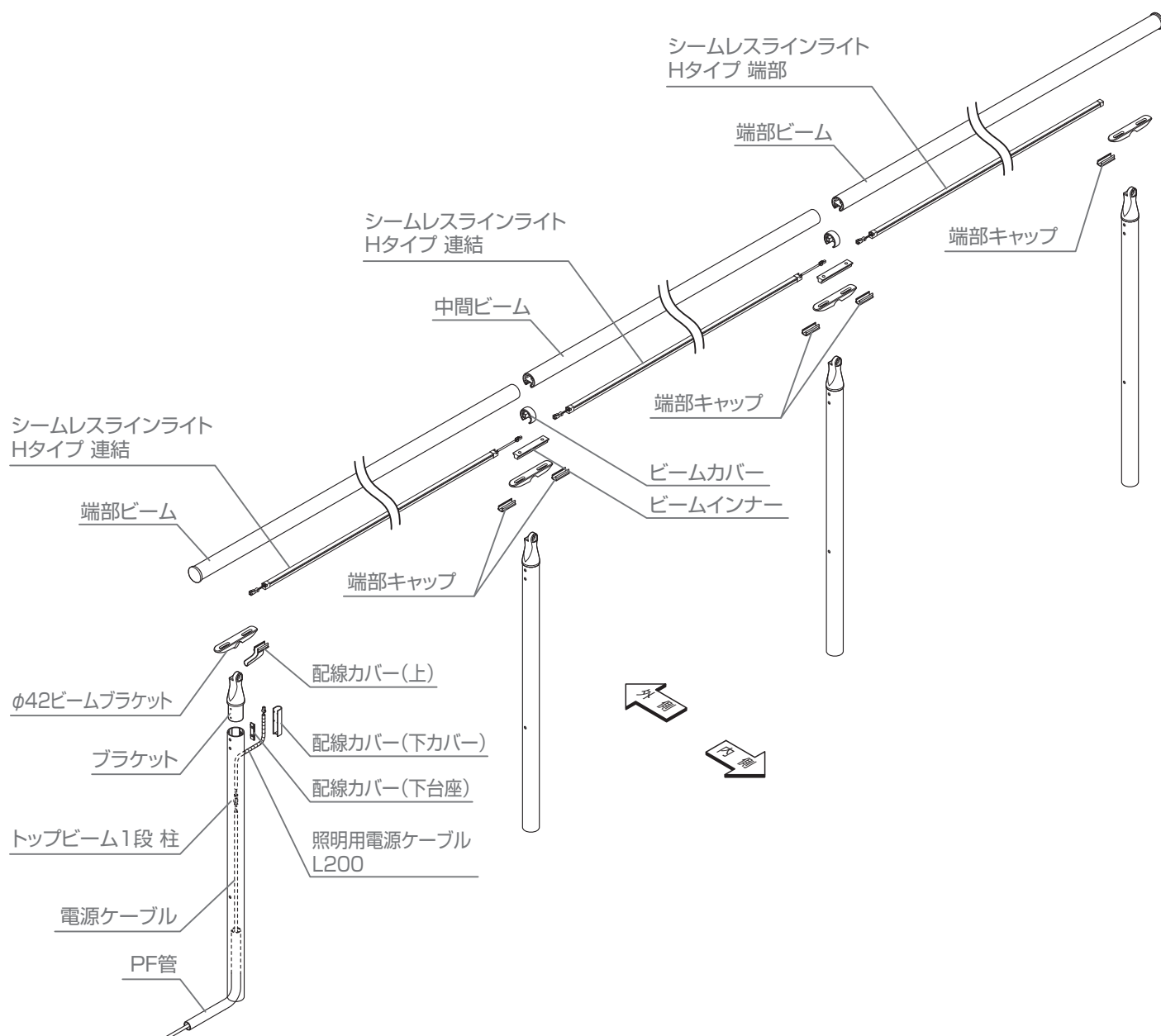
【9】サポートレール照明用部品セット

名 称	略 図	員 数
配線カバー(上)		1
配線カバー(下台座)		1
配線カバー(下カバー)		1
端部カバー		1
照明用 電源ケーブル L200	-	1
取付説明書＜EXM-247＞	-	1
取扱説明書＜UZ287＞	-	1

【10】サポートレール照明用追加セット

名 称	略 図	員 数
端部カバー		2

各部名称

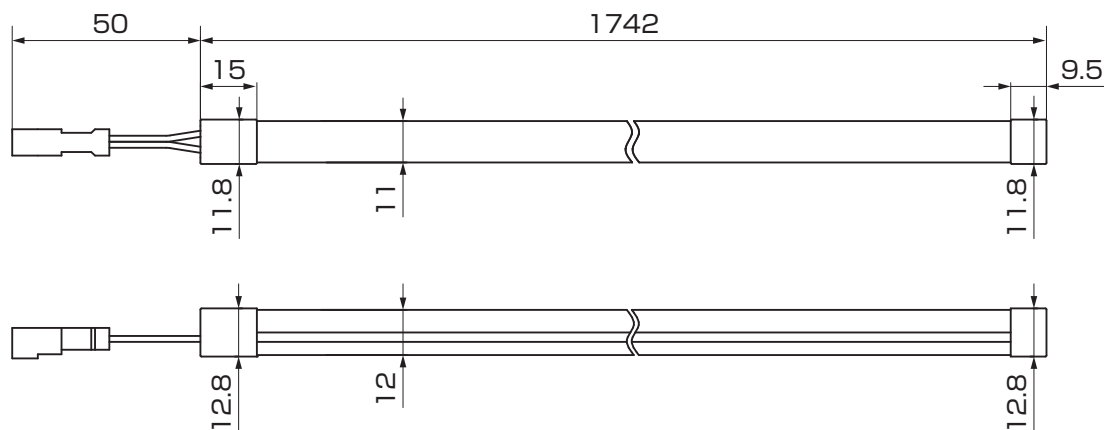


施工上のお願い

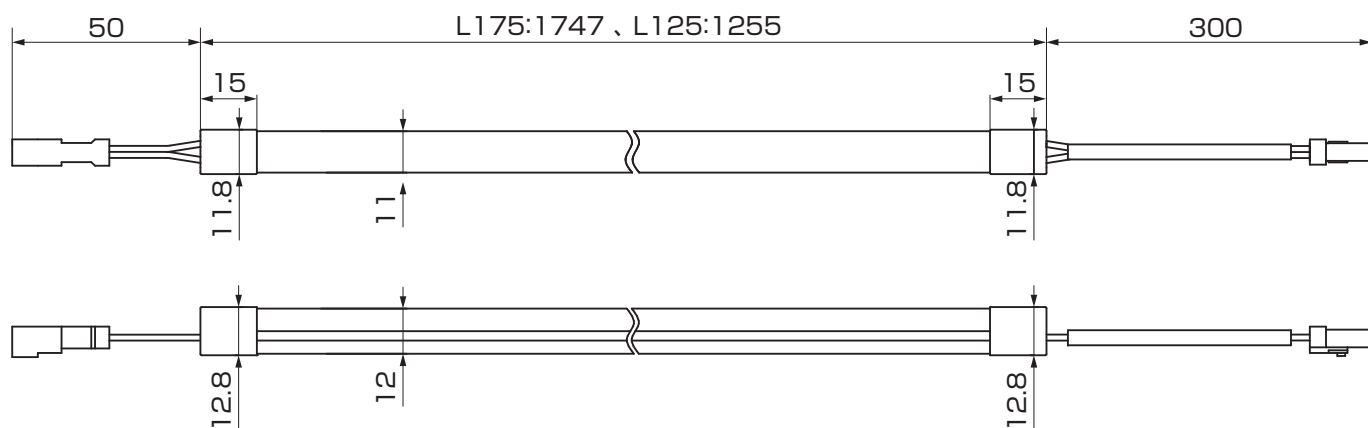
●照明は最大3スパン(6.0m)まで連結可能です。

基本寸法

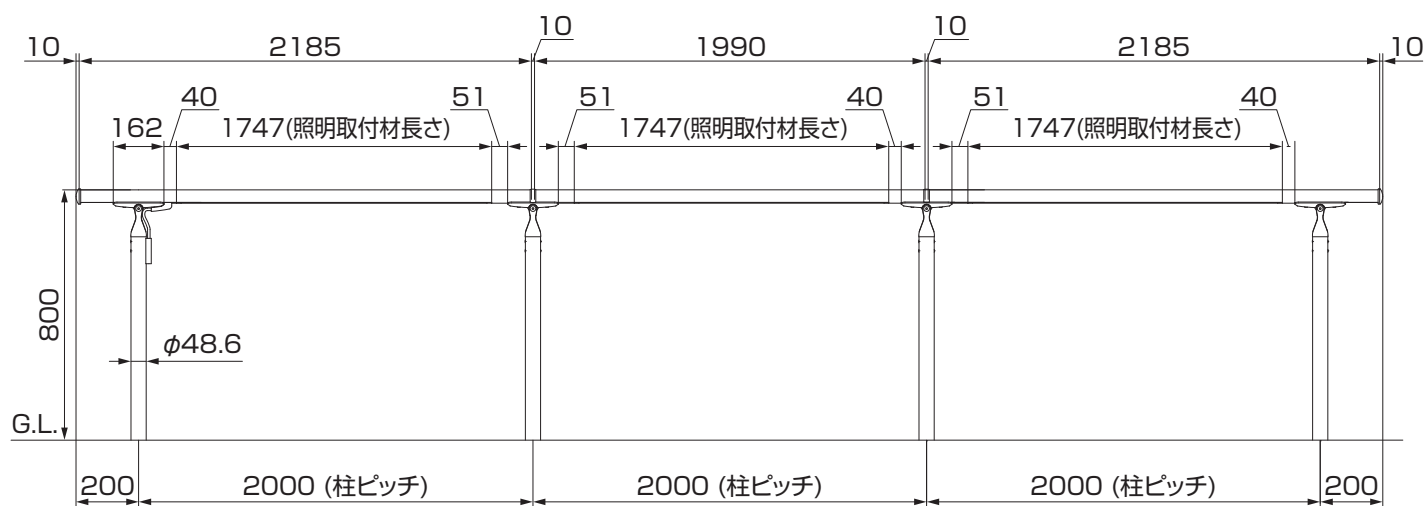
シームレスラインライト Hタイプ 端部用



シームレスラインライト Hタイプ 連結用



本体

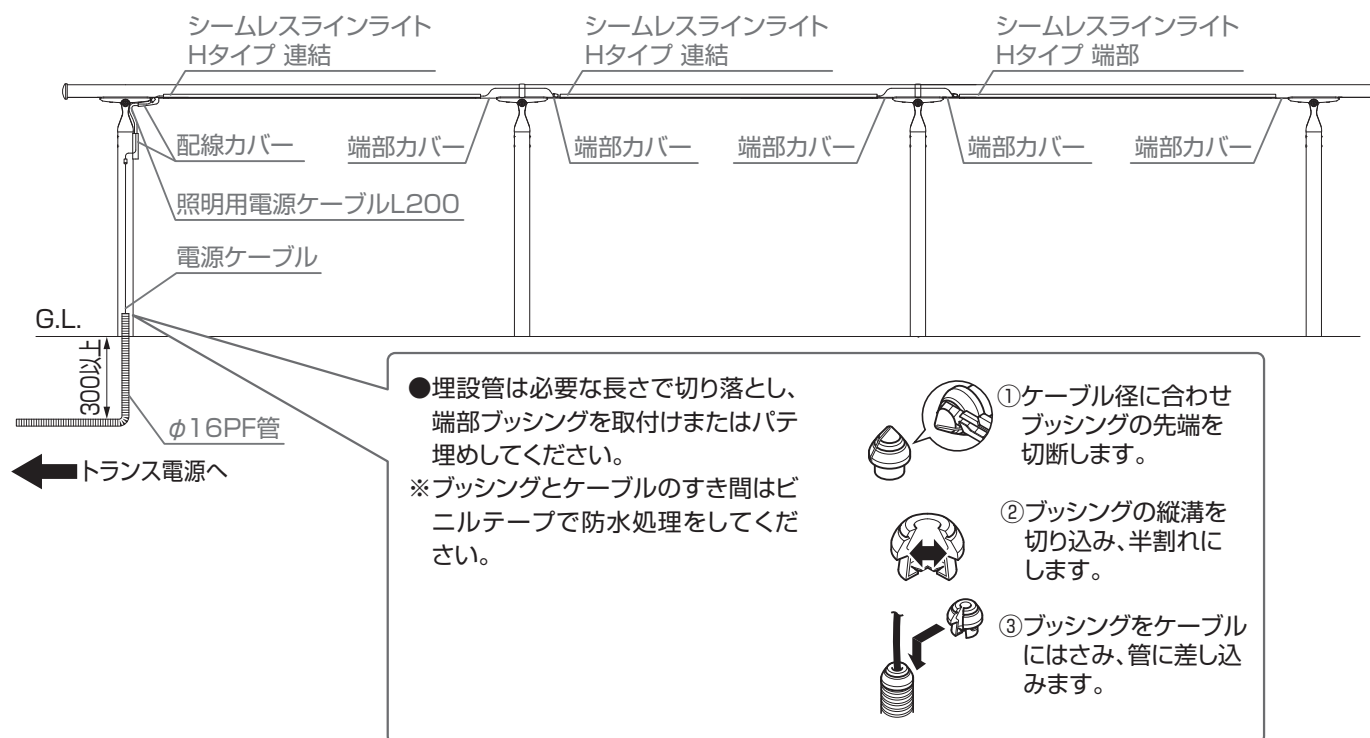


施工上のお願い

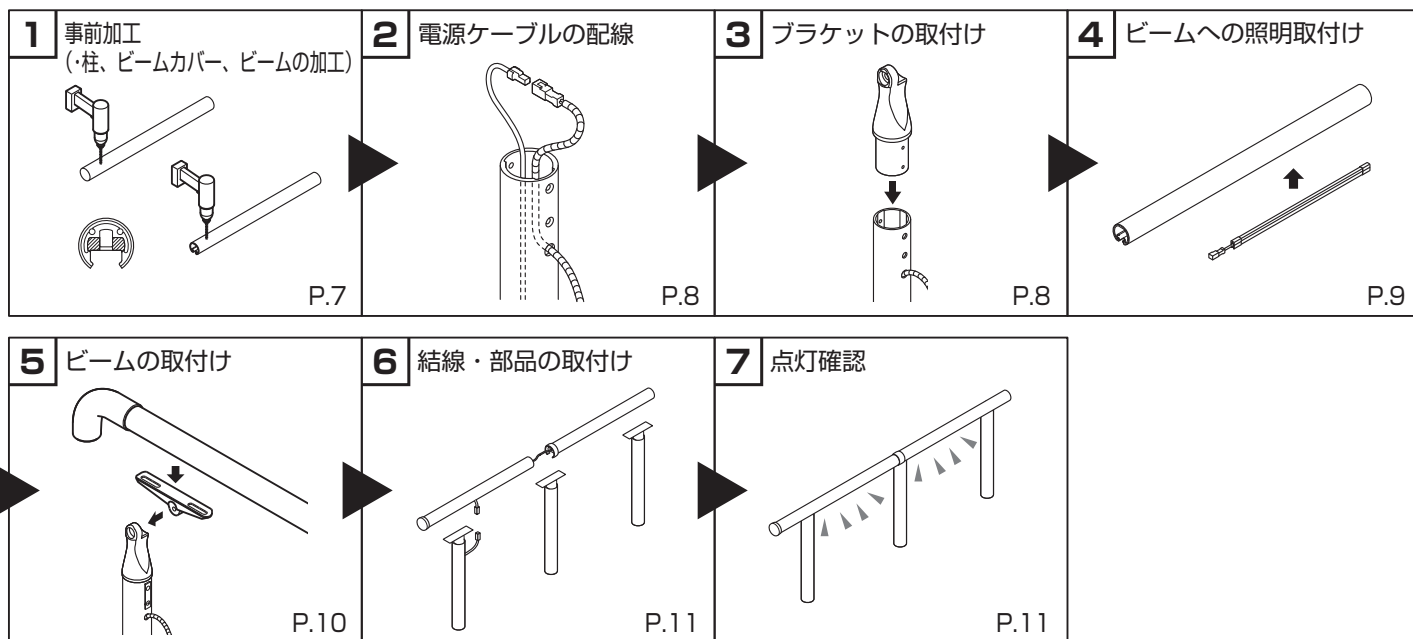
- 照明は最大3スパン(6.0m)まで連結可能です。
- 照明は端部用のみ現場切詰めできます。また、規格(柱芯々寸法2000mm)ピッチ以外で施工する場合は、**8 照明の切詰め**を先にご確認ください。

配線参考図

1:現場に合わせて配線・配管を敷設してください。



施工の流れ

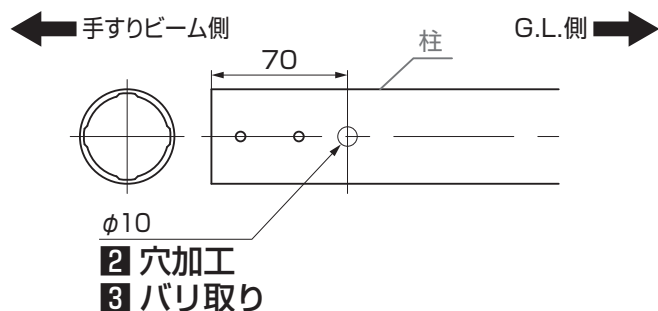


※規格ピッチではない場合は **8 照明の切詰め** を先にご確認ください。

1 事前加工

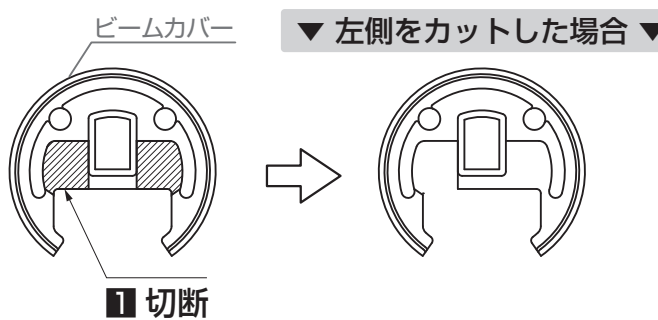
1-1 電源立上げ部の柱の加工

- 1: ブラケットを電源立上げ部の柱から取外し
- 2: 電源立上げ部の柱にφ10の穴加工
- 3: 電源立上げ部の柱をバリ取り



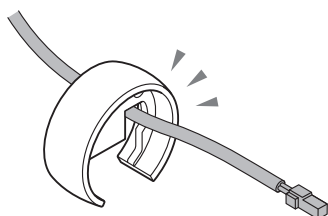
1-2 連灯時のビームカバーの加工

- 1: ビームカバーの斜線部のどちらか片側をニッパー等で切断



施工上のお願い

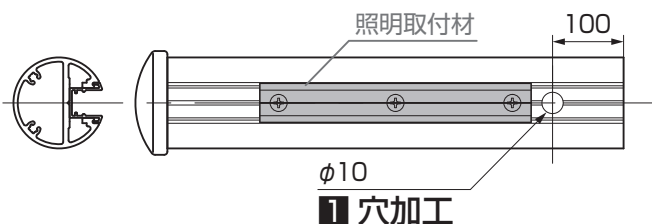
- 切断後、連灯用の照明の送り配線およびコネクタが通ることを確認してください。



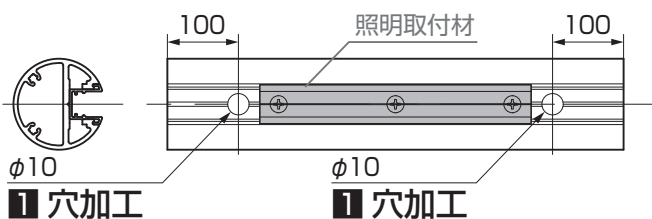
1-3 連結時のビーム加工

- 1: ビームに配線用のφ10の穴加工

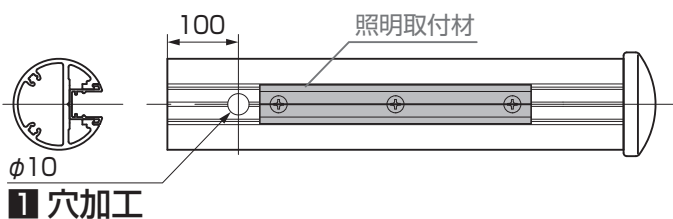
■端部ビーム 電源立上げ側の場合



■中間ビームの場合



■端部ビーム 端部側の場合

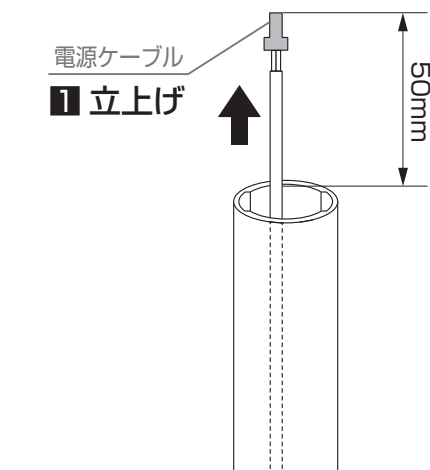


施工上のお願い

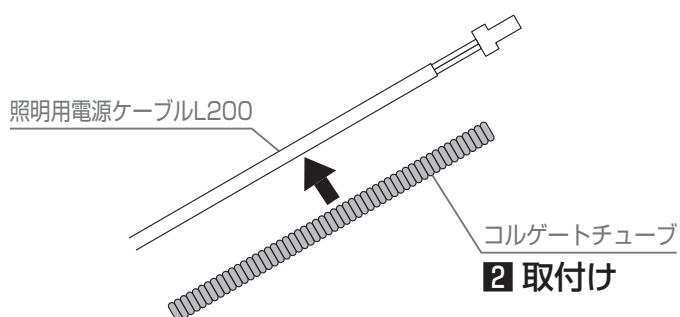
- 中間用は左右を逆に取付けても問題ありません。
- 現場切詰めする場合はビームに付属の照明取付材を取外して照明の長さに合わせて切断してください。

2 電源ケーブルの配線

①:電源ケーブルを柱上面から50mm立上げ



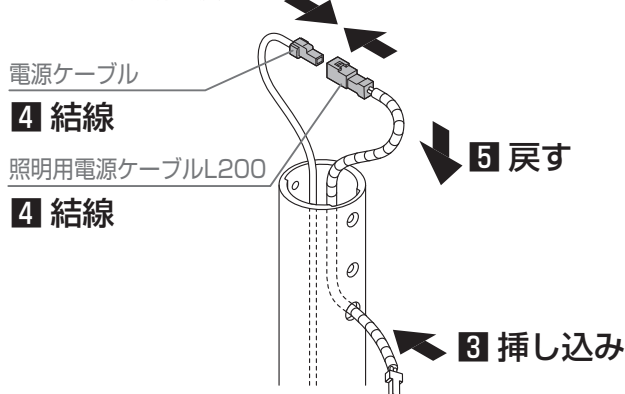
②:コルゲートチューブを照明用電源ケーブルL200に取付け



③:照明用電源ケーブルL200を電源立上げ部の柱の配線穴(φ10)に挿し込み

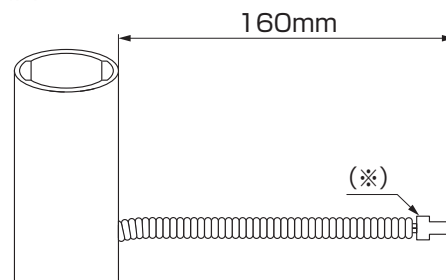
④:照明用電源ケーブルL200と電源ケーブルを結線

⑤:柱の中へ配線を戻す



施工上のお願い

- コネクタの根元までコルゲートチューブが覆うようにしてください。(※)
- 照明用電源ケーブルL200は配線穴から160mmになるように引出してください。

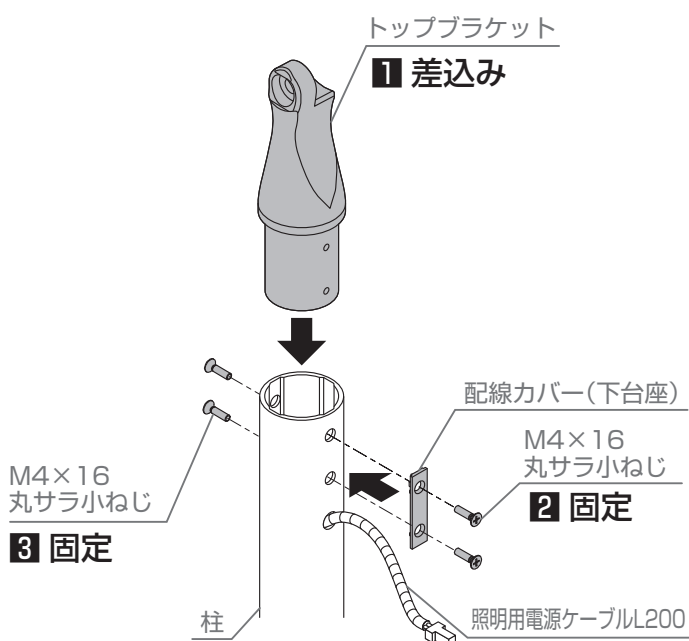


3 ブラケットの取付け

①:トップブラケットを柱に差込み

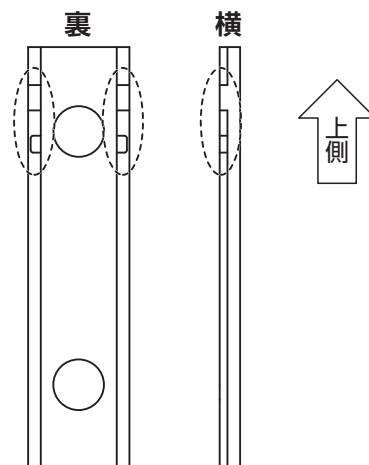
②:トップブラケットと配線カバー(下台座)を柱の配線穴が空いている側にM4×16丸サラ小ねじで固定

③:反対側もM4×16丸サラ小ねじで固定



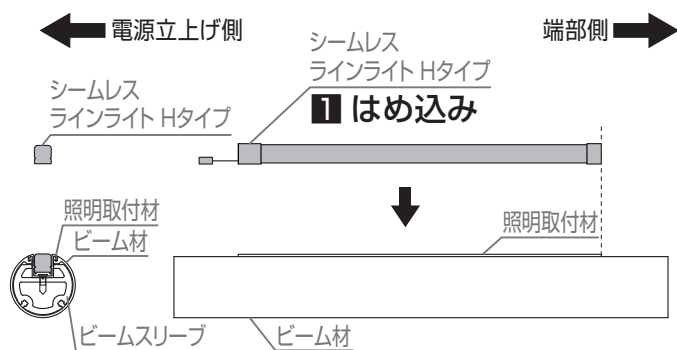
施工上のお願い

- 配線カバー(下台座)は必ず手締めで固定してください。インパクトドライバーなどで締め付けると割れることがあります。
- 配線カバー(下台座)には取付向きがあります。配線カバー(下台座)が取付かなくなりますので、突起を上にし裏面を柱側にして取付けてください。



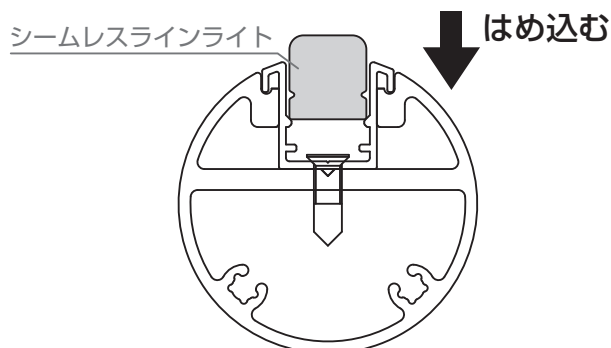
4 ビームへの照明取付け

1 シームレスラインライトをビームにはめ込み

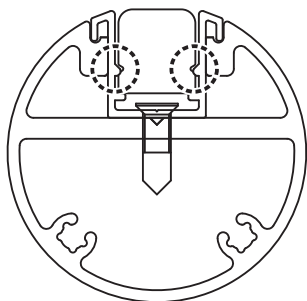


施工上のお願い

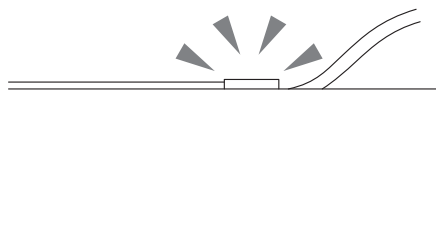
- シームレスラインライトを一気に入れると基板が折れる可能性があるため、ライト全体を半分程度はめ込んだあとに奥まで入れるようにしてください。基板が折れると不点灯につながります。



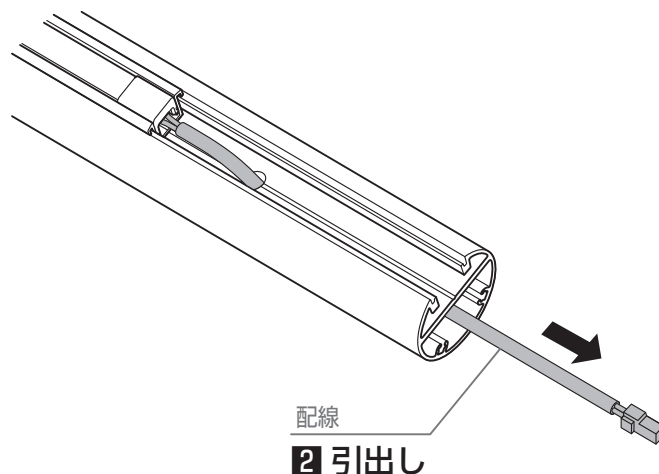
- シームレスラインライトの凹部と照明レールの凸部(下図点線部)をしっかりと勘合させてください。



- 端部側から照明取付材の端部に合わせて取付けてください。周囲温度によって、レールに比べて灯具が短い場合がありますが、性能上の問題はありません。
- 側面から見るとシームレスラインライトの端部がレールからはみ出す可能性がありますが、性能上の問題はありません。



2 連結する場合、送り配線を取付け穴から引出し

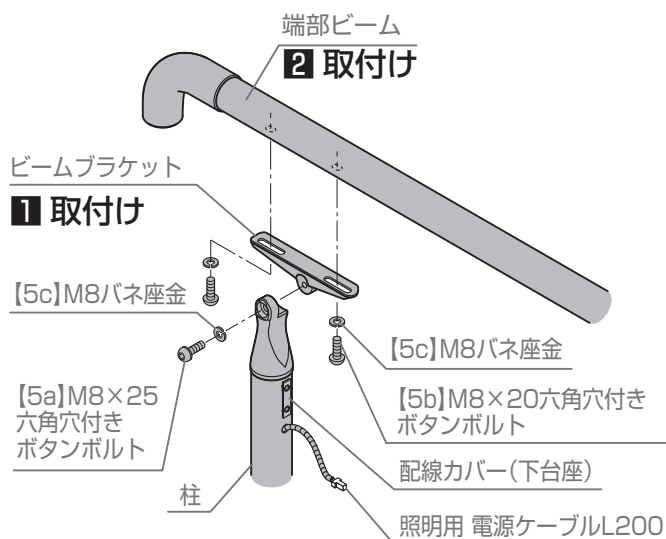


5 ビームの取付け

5-1 ビームの端部を取付ける場合

※図はサポートレール2型端部ビームRを示します。その他の各端部ビーム・各コーナービームの取付け手順も同様です。

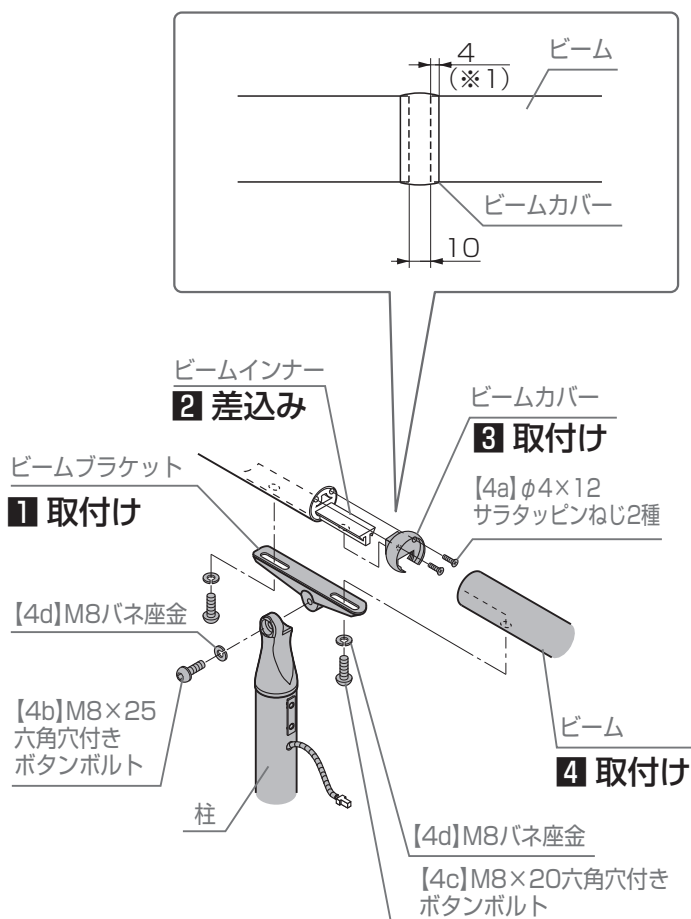
- ❶:ビームブラケットを柱に【5a】、【5c】で取付け
- ❷:端部ビームRをビームブラケットに【5b】、【5c】で取付け



5-2 ビームの連結部を取付ける場合

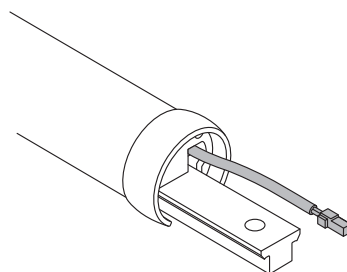
※図はサポートレール2型ビームを示します。サポートレール3型ビームの取付け手順も同様です。

- ❶:ビームブラケットを柱に【4b】、【4d】で取付け
- ❷:ビームインナーをビームに差込み
- ❸:ビームカバーをビームに差込んで【4a】で取付け
- ❹:もう一方のビームの先端が、ビームカバーに4mm(※1)入った位置で、ビームをビームブラケットに、【4c】、【4d】で取付け

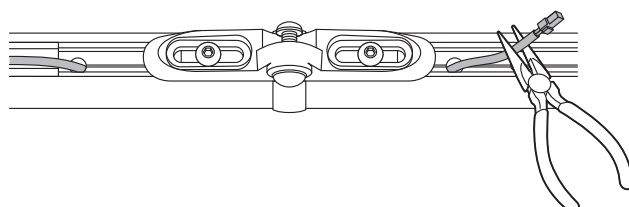


施工上のお願い

- ビームカバーの配線用穴から配線を出してください。



- もう一方のビームの配線用穴から配線を出してビームを固定してください。



6 結線・部品の取付け

1: 柱から出ている配線と灯具を結線

施工上のお願い

- 配線の長さを調整してください。

2: 配線カバー(上)を下から手すりビームに取付け

3: 配線カバー(下カバー)を下からスライドして配線カバー(下台座)に取付け

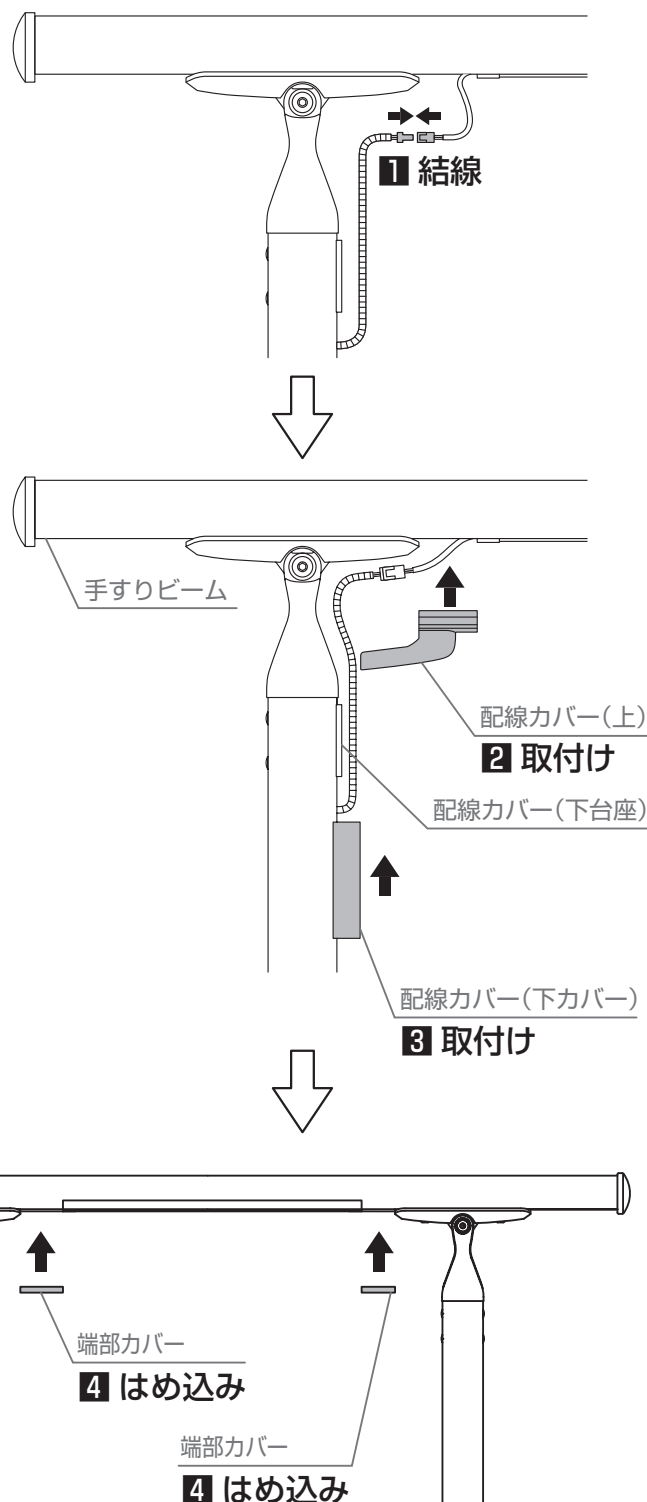
施工上のお願い

- 配線カバー(下カバー)と配線カバー(下台座)の勘合が固い場合があります。配線カバー(下カバー)の開口部を指で広げながら勘合してください。
- 取付後、配線カバー(下カバー)が外れないことを確認してください。

4: 端部カバーを灯具とブラケットの隙間に寸法を合わせて切断してはめ込み

施工上のお願い

- 切断後、バリ取りをしてください。



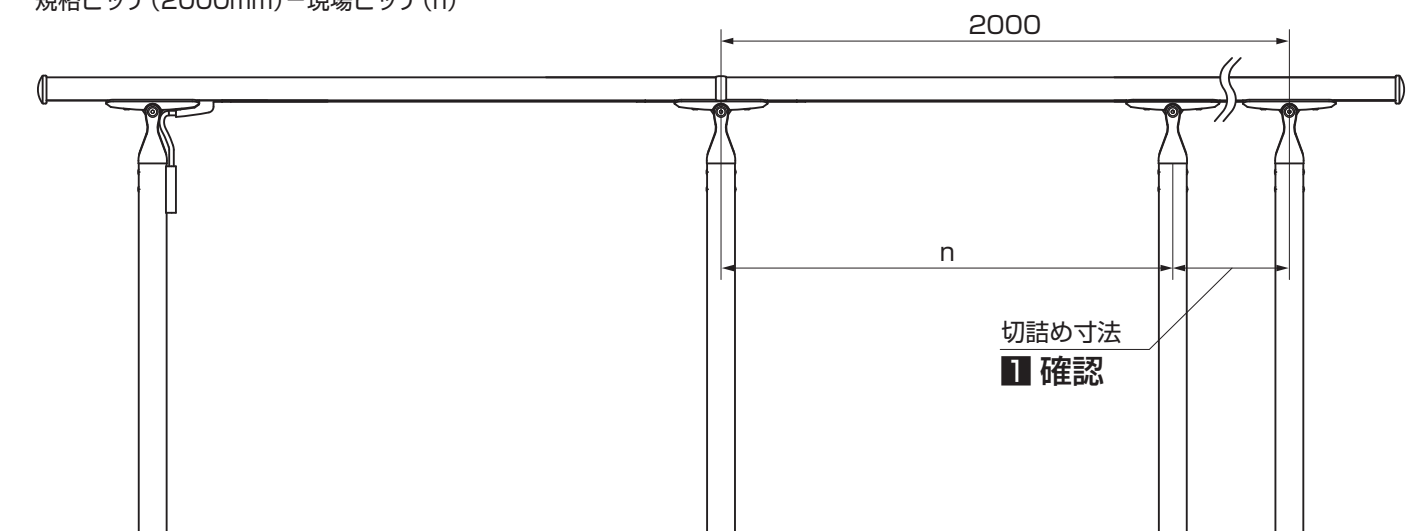
7 点灯確認

1: 施行後点灯確認を実施

8 照明の切詰め

1:以下の式で切詰め寸法を確認

規格ピッチ(2000mm)－現場ピッチ(n)



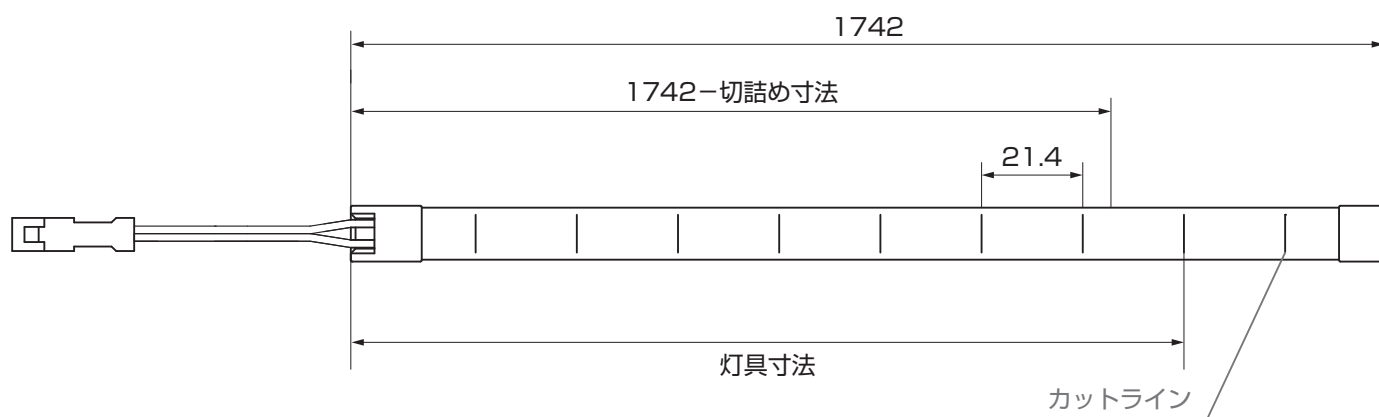
2:灯具を計算した寸法に合わせ切断

【例】現場ピッチ(n)を1800mmにした場合

柱ピッチの差(切詰め寸法): $2000 - 1800 = 200\text{mm}$

灯具必要寸法: $1742 - 200 = 1542\text{mm}$

灯具寸法: $1542 \leq \text{カットライン}$



施工上のお願い

- カットラインと寸法が合わない場合は、直近の電源側のカットラインで切断してください。
- 現場切詰めができるのは端部用のみです。連結用は特注で拾い出してください。
- 切詰め方法は取付説明書<EXM-125>「切詰め用キャップ」を参照してください。
- 連結用の場合、上記の例(切詰め:200mm)の際は1542mm以上の近似の灯具寸法を取付けてください。

3:灯具レールを灯具の長さに合わせて切断

取説コード

EXM247

JZZ642395
202602_1049